

稲門やま

早稲田大学大和稲門会会報第 40 号

発行所 早稲田大学大和稲門会
 発行人 会長 石川 公弘
 〒242-0006 神奈川県大和市南林間 4-9-10
 事務局長 宮崎 顕
 TEL・FAX 046-274-6169
 編集人 宮崎 顕、瀧本幸男、児浦義文

大和稲門会第 25 回総会開催

平成 30 年度第 25 回総会は平成 30 年 11 月 10 日 (土) 来賓 32 名を迎え、また会員 17 名が参加し前年と同じ「横浜うかい亭 (大和市つきみ野)」で開催されました。

第一部 総会

横澤幹事長の司会で開始。石川会長を議長に選出し議事が開始された。事務局より平成 29 年度事業

報告、決算案の説明、会計監査報告があり、事業報告、決算案はいずれも承認された。続いて 30 年度事業報告案、予算案の提案説明があり、次回総会時に創立 25 周年を迎えることから、「25 周年記念大会の開催」「記念誌の発行」を予定しておりそれに



石川会長



向かって進めていく方針案が説明され、続いて採決が行われ全ての議案は可決承認されました。

第二部 講演会

衆議院議員甘利明氏(大和三田会)より「中国に対して思う事」と題して講演をいただきました。

○先日のアメリカ中間選挙の感想を述べられ、2年後の大統領選挙の見通しについては共和党議員の大統領支持が一層強固となる反面、民主党はスター不在の状況から2年後再選の可能性は大であること。2期目に入るとトランプ大統領は次〔3期目〕がないことから、これまで以上にトランプ色が鮮明(わがまま)となろう。我が国の対外関係においてはトランプ氏との親密度が米国との関係を決定的に左右するが、安倍総理の信頼度で日米の良好な関係は持続する。しかし3年後の総裁任期後が心配である。

○米中関係においては中国の習近平氏の「世界最大の製造大国になる」との発言の一方、トランプ大統領も米国を製造大国に復活させるとの強い思いを持っており、中国製品の大幅関税引き上げにつながっている。これまでの米政権は中国のアメリカでの活動の放置、サイバー攻撃問題、マイクロチップの埋め込み等の問題につながっており、今後はかなり強い姿勢をとることが予想される。

○これからの世界戦略、企業戦略

「ルールを制する」「データを制する」ことが決定的に重要。これまでわが国は世界の先進的動きに対し迅速に対応することが強く意識されてきたが、これからは自分たちで「新しいルールを作る」「世界標準を作る」ことが肝要。「データを制する」ことについてはアマゾンやフェイスブックにみられるように「プラットフォームになること」の重要性を例をまじえながら強調された。



講演する 甘利明氏

1 時間余りにわたる話を聞かせていただき、出席者の皆さんも満足された様子でした。



○ビデオ鑑賞『台湾少年工来日 75 周年歓迎大会』

NHK テレビで放映されまし

た

当会石川会長が実行委員長を務める「台湾少年工来日 75 周年歓迎大会」が 10 月 20 日大和市ならびに座間市で開催され、その模様はドキュメンタリー風に編集され先



日 NHK から放映された。その放送録画を皆さんに鑑賞していただきました。ビデオを見た会場の皆さんは大変感激された様子でした。

第三部 懇親会

小澤幹事の司会と瀧本副幹事長の開会宣言とがあり懇親会が開始。

石川会長の挨拶に続き各来賓の方々からの挨拶を戴きました。早稲田大学を代表して尾内地域コーディネーターより祝辞をいただき、その中で総長が先日交代され新たな歩みが始まったこと、また早稲田ビジョン 150 はしっかり引き継がれている旨のお話がありました。



神奈川県支部長を務める横浜稲門会鴻谷(コウタニ)会長の挨拶、前

回神奈川県支部大会の主管を務めた茅ヶ崎稲門会の蓮本会長より県支部大会参加のお礼の挨拶と続き、来年県支部大会の主管を務める厚木稲門会の吉成会長の乾杯の発声で開宴となりました。



美味しいワインと「うかい亭」の自慢料理で会場の雰囲気は大いに和らぎ楽しい懇親の場となりました。宴たけなわを迎え、関根副幹事長の発声で会場の皆さんが肩を組み大学校歌の斉唱とエールへと続き、和服姿の水野副事務局長の閉会の挨拶でお開きとなりました。

お帰りの際は岩本副会長の手配されたお土産をお配りし、大満足で帰られた様子でした。



平成 30 年度神奈川県支部大会が開催

平成 30 年 11 月 3 日(土)茅ヶ崎稲門会が主管、300 名が参加し寒川神社参集殿において開催され、大和稲門会から 10 名が参加しました。

第一部 県支部大会

県支部大会恒例の入場セレモニーに続き、大会を主管する茅ヶ崎稲門会蓮本会長の歓迎の挨拶と、早稲田大学鎌田総長の来賓挨拶をいただいた。

・**鎌田総長挨拶** 冒頭、今大会は自分の 8 年間の在任中 9 回目の大会で、8 年前の総長就任翌日に相模原主管の県支部大会大会（大和稲門会共催）に参加、そして今大会を最後に 11 月 4 日退任するという私にとっては記念すべき大会である。その 8 年間の在任中東北大震災への対応、2012 年に策定した早稲田ビジョン 150 のもと大胆な教育改革を実行し、現在 7500 人の外国人留学生が在学する国内で最もグローバル化の進んだ大学となっていることなど大学の経緯と現状についてのお話があった。ご講演後には本大会をもって退任される鎌田総長に対し惜しみない拍手が送られた。



鎌田総長

・特別講演会 講師:宮治淳一氏〔昭和 54 年法卒〕

氏は当地茅ヶ崎の代表的アーティストサザンオールスターズの名付け親で桑田佳祐とは小中学時代の同級生の音楽家。氏は大学時代に放送研究会に所属、卒業後はレコード会社に勤務、音楽に造詣が深く TBS ラジオのディスクジョッキーを担当した。

茅ヶ崎は門前町の藤沢と工業都市の平塚に挟まれ「松と砂」以外は何もない町、どうして「無から有を生み出す土地になりえたか、その「力」を音楽・芸能の観点から考察した。市川團十郎が 1897 年から住み始め、その後「オッペケペー」の新劇の川上音二郎が住む街であることはその要因のひとつである。わが国最古の録音を披露しながらの 1 時間の話はあっという間でした。



第二部 寒川神社参拝

県支部大会会場である参集殿から鳥居を潜り参道を暫く歩き社殿の待合室に入る。神社の禰宜の方から今回当神社で開催されたことに対するお礼並びに「寒川神社は相模国の一宮で 2 千年前に創建、全国唯一の八方除けの守護神」である旨の説明を受ける。

つづいて参加者全員が法衣をつけての神殿へ、参拝を行った。

第三部 懇親会

参拝を終え再び参集殿

に戻り懇親会へ、ここでは稲門会毎にテーブルを囲む。

9 月の代議員会で代表幹事に就任した萬代表幹事の挨拶の後、乾杯へと続き、美味しい料理に当地の熊澤酒造（代表者は稲門会員）のお酒で話は弾む。地元名物のフラダンスグループによる演技で（茅ヶ崎市はハワイのホノルルとの姉妹都市）宴は一気に盛り上がる。宴も終りに近づき大会旗が蓮本会長から厚木の吉成会長に引き継がれた。最後に懐かしの早稲田の歌に続き校歌斉唱でお開きになりました。



「人生万事塞翁が馬」

渡辺 伸明 (昭和 47 年理工学部卒、昭和 56 年大学院修了)

これは中国の人生訓ですが、意味は、人生における幸不幸は予測しがたいということを示します。不幸な出来事が、幸せに転じるということを示し、反対に幸せな出来事が不幸の始まりとなることもあります。私の人生もこの人生訓通りと言えます。

私は、32 歳まで大学院に在籍していましたが、最初に計画系の独立事務所に就職しました。その後 34 歳で結婚しましたが、2 週間の新婚旅行から帰ってきたら、次の日に会社が 2 回目の不渡りを出して倒産してしまいました。そのあとは約 3 か月間夫婦 2 人で職安通いの日々でした。今から考えると、その間は若かったこともあり、失業手当をもらいながら楽観的に過ごしていました。

その後、日本長期信用銀行のコンサル会社である長銀経営研究所 (のちに長銀総合研究所、長銀総研コンサルティング、価値総合研究所と社名変更) に採用され転職することとなりました。今から考えると、最初に就職した会社が倒産したので長銀経営研究所に就職することになったのですから、これが最初の大きな「人生万事塞翁が馬」経験になります。1983 年でした。長銀総合研究所では、仕事内容の質と量、金融と産業の知見拡大、待遇面の向上、人脈拡大など前会社とは比べ物にならない充実感を味わうことができました。

しかしながら、皆様ご承知のように、1998 年に日本長期信用銀行が一時国有化され、長銀総研コンサルティング (当時の社名) もその前後は右往左往の大混乱でした。その後、長銀が一時国有化された後、長銀総研コンサルティングは、長銀が名前を変えた新生銀行と広告代理店の ADK との合弁会社 (価値総合研究所) となり、私も役員に抜擢されて、これも「人生万事塞翁が馬」の体験となりました。

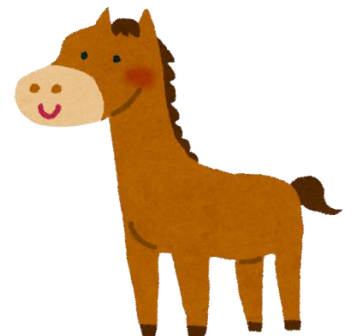
ここからは、ジェットコースターのようにサイクルが短くなります。3 年後に新生銀行と ADK の両株主の意見衝突で価値総合研究所を特別清算することになってしまいました。両株主にお願いして、価値総合研究所の役員、従業員で MEBO(*)を行い、不安ながらも独立系シンクタンクとして再出発しました。この MEBO から再出発に至る間、私の人生で最も苦悩の大きかった時代かもしれません。

その後、社長との折り合いが悪くなり、3 年後に退職を余儀なくされましたが、声を掛けてくれた事業会社に常務執行役員として処遇され、その後チェーン展開する医療法人の経営顧問を経て 4 年前に大和市の市議会議員に当選させていただきました。

このように人生の紆余曲折を経て現在に至っているのですが、今の仕事にたどり着くのも必然だったように思います。50 歳代半ばから、今までの社会経験を活かして第 2 の人生を地域のために役立てればと考えていたこともありますが、紆余曲折の社会経験も大いに役立っていると思います。長銀総研で携わった様々なまちづくりや産業振興、会社経営の経験を踏まえた財政、医療法人の経験を活かした福祉医療などで少しでも地域に貢献できればこの上ない幸せです。

人生の様々な経験は廻り道ではありません。「人生万事塞翁が馬」の人生を改めてかみしめています。

*MEBO: Management and Employee Buyout 企業の経営陣と従業員が一体となった経営権取得。



台湾高座会留日 75 周年歓迎大会 (10 月 20 日開催)

第一幕 芹沢公園 台湾少年工顕彰除幕式

大和稲門会石川会長が実行委員長を務める「台湾高座会留日 75 周年歓迎大会」開催され、第一部として台湾少年工顕彰除幕式が座間市の芹沢公園で 10 時から開催、大和稲門会からも 10 名が参列しました。

先ず除幕式が関係者によって厳かに行われ、続いて石川大会実行委員長の熱のこもった挨拶、その中では台湾からの少年工は 75 年前に来日し、以後今日に至るまでの経過と苦労について説明されました。石川氏のライフワークともいうべきこの事業にたいする思いに感動しました。



台湾少年工顕彰碑の前で参加した大和稲門会の石川会長(前列右から2人目)と会員達

続いて衆議院議員の甘利明氏が大会会長として挨拶されました。

顕彰碑に刻まれた石川実行委員長の歌を岳精流日本吟院に所属している大和稲門会の菟場氏が、台湾万葉歌人で元少年工洪坤山氏歌を、元台北稲門会会長の北村氏が、さらに元伊勢原高女勤労挺身隊の佐野多香さんの歌を丹羽女史が吟詠された(北村氏、丹羽女史ともに岳精流日本吟院に所属)。さらに顕彰碑の場所を提供いただいた座間市の遠藤市長から、この碑が「天の時」「地の利」「人の輪」からできたものという素晴らしい挨拶があり、除幕式の最後に台湾高座会会長で元少年工時代からのリーダーとして活躍された李雪峰氏から心のこもった日本語での答辞は胸にしみるものがありました。



吟詠する菟場氏

第二幕 シリウス 留日 75 周年歓迎大会

では関係者、来賓各位の挨拶に続き台湾高座会会員の皆様に一人一人感謝状が贈呈され、心から感激された様子でした。歓迎イベントとして海上自衛隊横須賀音楽隊演奏と「古川精一と慶応大学ワグネル合唱団」のコラボによる演奏が行われた。会場は大いに盛り上がり、アンコールを求める声が渦巻く中で日本海軍の軍歌を交えながらの演奏がなされ、多くの人に感動を与えて歓迎大会は幕を閉じました。

第二部の留日 75 周年歓迎大会は場所を大和市のシリウスに移し同日 13 時から開催、約 1,000 名が参加しました。歓迎式典



シリウスでの歓迎大会

第三幕 来日の台湾高座会会員を歓迎する宴

来日した台湾高座会の皆様を歓迎する宴は、オークラフロンティアホテル海老名に会場を移し同日 18 時より開催されました。

台湾高座会の李雪峰会長より大和稲門会の石川会長、真鍋副会長、岩本副会長に対して感謝の記念品が贈呈されました。また李雪峰会長と大会会長を務められた甘利明衆議院議員、石川実行委員長、役員の方々の記念写真の撮影もおこなわれました。



李雪峰会長を囲んで日本側出席者

第四幕

歓迎航空ショー

原寸の三分の一のゼロ戦と雷電のラジコン戦隊が静岡県静岡市富士川滑空場で 10 月 22 日(月)に有志会員に披露されました。



大和稲門会秋のハイキング報告 (平成 30 年 11 月 20 日)

小金井公園「江戸東京たてもの園」の見学と駅近くでの会食

大和稲門会では春、秋の年 2 回ハイキングを行っていますが、今回は紅葉の名所の小金井公園と公園内にある「江戸・東京たてもの園」を見学しました。

参加者 石川会長以下 8 名

当日は秋晴の好天気。10 時半に東小金井駅に集合、コミュニティバスに乗り 10 分弱、小金井公園入口で下車。公園は桜の名所として知られており紅葉を期待しましたが時期が早かったようでした。公園の中を 15 分程歩き入口に進む。

入口の建物は**光華殿**と呼ばれ 1940 年に皇居前で行われた紀元節の式典に使われたそうだ。入場料 160 円(シニア割引、団体割引)を支払い入場。園内は 4 つのゾーンから構成されており、西ゾーンから見学することとした。



参加者 石川会長以下 8 名
写真館にて

最初に昔はよく街中で見られた**写真館**に入り、全員の記念写真を写す。次に訪れた三井八郎右衛門邸はその一部が京都から移設されたもので、財閥の邸宅にふさわしい建物と庭園が見られた。

次に江戸時代の庄屋と同心組頭宅を訪問、2 軒とも防虫効果を図るためボランティアの皆さんが燻煙を行っており、小学生が団体で見学に訪れていた。その後、日本モダニズムの旗手といわれた建築家の前川国男邸他を見学し、洋風建物の**デ・ラランデ邸**で昼食を摂ることになりました。

この建物は明治時代ドイツ人建築家が増改築し、現在はカフェとして利用、ここのテラスでビールとカレーライス、ハヤシライスをいただく。

この建物は明治時代ドイツ人建築家が増改築し、現在はカフェとして利用、ここのテラスでビールとカレーライス、ハヤシライスをいただく。



高橋是清邸の前で

食事を終わりこの園の目玉である**高橋是清邸**に入ると、さすがに入場者が多く賑わっていました。二二六事件で襲撃を受けた 2 階の部屋でガイドの説明を受ける。庭も旧是清邸から移設されたもので色づき始めた紅葉も美しい。高橋是清邸を出て**東ゾーン**に向かう。

江戸東京たてもの園

1993 年「江戸東京博物館」の分館として建設(敷地面積 7ha)、東京都内での現地保存が困難な文化価値の高い歴史的建造物を移築し復元・保存・展示し貴重な文化遺産として継承することを目的としているとのこと。



昼食はビールで乾杯から



子宝湯という大きな銭湯の中を覗く小澤さんと参加者たち

ここは昔の商家や銭湯、居酒屋等が立ち並ぶ下町風情が感じられるゾーンだ。道路を挟んで荒物屋、乾物屋、小間物屋、傘屋醤油屋(酒屋を兼ねる)と並び子宝湯という大きな銭湯がある。銭湯の中を覗くとテレビドラマの「時間ですよ」の雰囲気。居酒屋、旅館、文具店、休憩所(2階は食事処)、東ゾーンを出たところに都電 7500 が停車しており暫く休憩しここを出ます。

たてもの園を出て、皇帝ダリアが美しい箱根草園や桜で有名な桜の園を通り公園の西出口に向かう。そこからはバスで武蔵小金井



駅に向かう。小金井駅近くの居酒屋で慰労会を行い、新宿から小田急で帰路に向かう楽しい一日でした。

総合 12 位、13 年ぶりシード逃す (箱根駅伝応援記) 第 95 回箱根駅伝 往路 15 位、復路 7 位

宮崎 顕

★★★今年も正月 2 日・3 日に箱根駅伝が行われました★★★

母校を応援すべく、第 1 日目の正月 2 日に例年のごとく藤沢橋近くの神奈中バスの営業所へ向かう。藤沢稲門会の方々がすでに営業所のまわり一面に、早稲田大学や藤沢稲門会、そして藤沢以外の近隣稲門会も幟を立てて応援場所を設営してあり、いつもの藤沢稲門会の方々のにこやかな顔が我々を迎えてくれました。

早速受付をすまし、新年の挨拶を申し上げ、日本酒で乾杯。

だが、一様に雰囲気がおかしい。最下位だの 21 位だのとテレビを観戦している校友達が騒いでいる。

昨年は下馬評があまりよくなかったのに、結果は 3 位。

今年もあまり評判は良くはなかった。

しかし、1 区では一年生の中谷選手が頑張り 4 位で 2 区太田智につなぐ。そこで太田智がまさかの大ブレーキ。一気に 21 位まで落ち、結果 2 区は 18 位に。21 位に落ちた時は思わず悲鳴のような声が聞こえてきた。

我々のいる 3 区(戸塚→平塚)は、これも 1 年生千明龍之佑選手が少しでも取り戻そうと、がむしゃらに走っていました。前との差が開きすぎ、17 位まで上げるのがやっとだったようだ。

選手たちが走り去ると、藤沢橋での応援は終わりとなり、応援に参加した校友の人々に対し藤沢市長が挨拶、藤沢以外の大和、相模原、鎌倉、逗葉等の校友も順次紹介され、みんなで校歌をうたい散会しました。藤沢からの帰路では自宅に近づくとつれ順位が気になり、自宅とラインで順位を教えてもらったりしました。

その後 4 区では頑張ったが 5 区でまた、ブレーキ、結果往路 15 位に終わった。

まさかの往路の結果に、復路に暗雲がただよってきた。



沿道にはためくのぼり旗



小旗を振る沿道の人たち

復路はそれぞれが頑張り、特に 9 区、10 区が頑張ったが、秀でたランナーがいなかったためか、復路は 7 位と健闘したが、総合では 1 分 16 秒足りずシード権を逃し 12 位に終わった。

こうなると青学大、東洋大の層の厚さには完敗でした。有望選手の事前の交通事故などハンディはあったかもしれないが残念でした。

来年こそ、今年の 1・2 年生を中心に、早稲田の奮起に期待しましょう。

頑張れ早稲田スポーツ



早稲田アリーナ見学会に参加しました

記念会堂に代わる多目的施設「早稲田アリーナ」が昨年 12 月竣工し今年 3 月当施設のオープンを兼ねた卒業式がここで行われます。

卒業式に先立ち見学会が行われた。当稲門会にも招待状が届いたことから、3 月 9 日の校友会代議員総会出席のため母校を訪れた宮崎、村岡、児浦の 3 名の代議員がアリーナ見学会に参加しました。大和稲門会からは他にも参加された方がおりました。

アリーナは地下 2 階、地上 4 階の建物でメインアリーナは地下 2 階、地下 1 階は観客席並びに多目的運動場となっています。

1 階の受付から入場、早速エレベーターでメインアリーナへ。エレベーターを降りると入口近くに寄付者の銘板の設置場所があり、そこで大和稲門会と書かれた銘板を確認し安堵、他に当稲門会員の岩本武夫氏、鈴木信義氏、大澤善勝氏らの銘板を確認できました。



バスケットボール 2 面とバドミントン 5 面が取れる広いアリーナ



王貞治顕彰額

広々としたメインアリーナは地下とは思えない採光の良さで、国際大会の公式会場に準じた仕様を採用し、また、記念会堂より一回り大きく、卒業式、入学式等の式典には 6,000 名が収容できるとのことで、ここ数年間は学生たちに不自由な思いをさせたと思うが、これからは楽しみだ。

3 階に上ると早稲田スポーツミュージアムがあり早稲田スポーツの歴史や栄光をたどる映像や写真、資料が展示されるが現在は準備中だった。廊下ギャラリーには織田幹雄氏や王貞治氏を始め多くの早稲田のスポーツ功労者の写真が展示されていた。

2 階に降りると、アリーナの屋根部分に設けられた「戸山が丘」と名付けられた丘状の広場があり、それに面して交流テラスやラーニングコモンズが設けられ学習とコミュニケーションの場となっている。今は見学者だけで閑散としていたが、新学期に入ると華やいだ雰囲気でも賑わうことと思う。

もう少しゆっくり観たいと思いながら、代議員総会の時間があり会場へ向かう。

(施設の概要)

建物構造：地下 2 階、地上 4 階、鉄筋、鉄骨コンクリート造り

延床面積：14,028 m²

収容人員：約 6,000 人 (式典時) 1,840 席 (可動式)

建物用途：メインアリーナ、ラーニングコモンズ

多目的運動場、スポーツミュージアム、拳法場



屋上は「戸山が丘」と呼称

イベント予告

1. 春のハイキングに参加しませんか

恒例の春のハイキングは横浜の「港の見える丘公園」を予定しています。

ここは、横浜港を見下ろす小高い丘の上にある公園で横浜ベイブリッジを望む絶景のビューポイントにあり、有数のバラの名所です。特にこの時期はバラの美しい時期に当たります。また公園周辺には山手の西洋館も多く異国情緒あふれる場所となっております。

開催日 5月23日(木)

集合場所、時間 10:00 集合

相鉄線 大和駅改札口

相鉄線で横浜駅乗換、みなのみらい線 元町・中華街駅下車



元町・中華街駅からエレベーター、エスカレーターを乗り継いでアメリカ山公園に出ると、歩いて10分で「港の見える丘公園」に行きます。

昼食は港の見える丘公園に隣接するKKRポートヒル横浜を予定しています。

この時期山下公園のバラもきれいです。時間があれば帰路寄りしたいと思います。

皆様奮ってご参加ください

連絡先： 遠藤 廣 046-293-7473 児浦 義文 090-9333-4479 / koura0114@jcom.home.ne.jp

2. 大和早慶ゴルフコンペ大会

開催日 4月23日(火)

開催場所 大厚木カントリー倶楽部 さくらコース

スタート 8時36分 集合 7時30分

新ペリア方式による。同スコアの際はハンディの上位、高年齢の順位とする。

団体戦については、上位8名で争う



ご参加の方は、幹事宛ご連絡ください。

幹事：関根 実 (261-8210)、小澤 重晴 (276-8841)

3. カラオケ同好会

開催日時 毎月第3水曜日 14:00~17:00 (遅参、早退自由です)

場所 カラオケスナック「ウィズユウ」 大和市南林間 1-10-17

セントラルビル 2階 046-273-1773

小田急南林間駅西口(徒歩2分)横浜信金斜向い

初めての方は駅から連絡ください。迎えに行きます。児浦義文 090-9333-4479



詩吟の会からのお知らせ

開催日時 毎月第 4 水曜日 11:00~13:00

会 場 生涯学習センター (シリウス)。

例会は詩吟の会会長を務める菟場直一が所属する岳精会(国内では有数の詩吟グループです)の方々の応援をいただき、毎月第 4 水曜日に練習しております。

練習の後は皆さんと一緒に昼食を摂り懇親を深めています

これまで手掛けた吟題は次の 3 詩です。

頼山陽作 「母を奉じて嵐山に遊ぶ」

石川丈山作 「富士山」

頼山陽作 「母を奉じて嵐山に遊ぶ」

連絡先 会長 菟場 直一 電話 046-275-2764 携帯 080-1135-7603
世話人 児浦 義文 携帯 090-9333-4479 Email koura0114@jom.home.ne.jp

大和稲門会：今年度は 25 周年を迎えます

大和稲門会は平成 6 年 11 月に創立し、本年 11 月で創立 25 周年を迎えます。

今年の 11 月の総会は第 26 回総会となります。

節目となる今年は 25 周年に向けて種々の準備作業を進めております。

25 周年の記念事業として、記念誌の発行、記念大会の開催等を検討しておりますが現在の最大の課題は会員の増強です。現在会員として 100 名程が登録されておりますが、毎年会費を納入し会の活動に参加いただいている会員は 50 名に止まっており県内の他の稲門会に比較し寂しい状況にあります。

新会員の増強は一朝一夕にはいきませんが地道に勧誘活動を行う一方、既存会員の方々へは会の活動への参加をこれまで以上に呼びかけていく所存です。

そのためには魅力ある会の活動が不可欠です。

現在、バーベキュー大会、ハイキング大会、ゴルフの会、毎月のカラオケ定例会、詩吟の会等を開催しており、懇親に重点を置いた活動を提供しております。これからはこれらの活動の充実を図りつつ、会員の皆さんと一緒に学び切磋琢磨していく活動も充実していきたいと考えております。その意味では役に立つ勉強ができる好評のパソコン教室は月 2 回開催しており、会員の皆様の経験、知識をさらに生かすべく新たに学ぶ場作りを進めております。このほかにも会員の皆様の要望、提案をもとに勉学の機会を増やしてしていきたいと考えております。

現在、ホームページを開設し会の活動状況等をタイムリーにお届けしておりますが、ホームページ上に「会員の投稿」の欄を設けておりますので、ご意見ご提案をいただき双方向の対話の実現を期待しております。

ホームページ：waseda-yamato.com あるいは「大和稲門会」で検索してください。

これからも会の活動への参加、協力をお願い申し上げる次第です。

(大和稲門会事務局)

事務局便り (平成 30 年度上半期)

(平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 会員数 現会員数 77 名

2. 活動状況

(1) 行事内容

- ・ 30.10.1 「稲門やまと 39 号」発行
- ・ 30.10.3 稲門祭実行委員会
- ・ 30.10.8 秋季代議員大会
- ・ 30.10.20 高座日台交流の会 75 周年歓迎式典
- ・ 30.10.21 ホームカミングデイ&稲門祭
- ・ 30.10.27 ゴルフ大会 (東名厚木カントリー)
- ・ 30.11.10 大和稲門会総会
- ・ 30.11.20 ハイキング (江戸東京たてもの園)
- ・ 31.1.2・3 箱根駅伝応援(総合 12 位、往路 15 位)
- ・ 31.3.9 春季代議員大会
- ・ 31.4.1 「稲門やまと」発行

(2) 県下支部会等

- ・ 30.10.6 鎌倉稲門会総会出席
- ・ 30.10.6 川崎稲門会総会出席
- ・ 30.10.11 神奈川県幹事会・事務局長会議
- ・ 30.10.13 厚木稲門会総会出席
- ・ 30.11.5 神奈川県支部大会
(茅ヶ崎稲門会主管) 出席
- ・ 30.11.23 茅ヶ崎稲門会総会出席
- ・ 30.12.4 平塚稲門会総会出席
- ・ 31.2.9 藤沢稲門会総会出席
- ・ 31.2.23 大和桜門会総会出席
- ・ 31.3.19 神奈川県幹事会・事務局長会議

(3) 幹事会

- ・ 30.10.24 幹事会
- ・ 30.11.2 幹事会
- ・ 31.2.21 幹事会

(4) 31 年度行事予定

- ①大和稲門会総会 11 月 9 日 (土)
- ②ホームカミングデイ・稲門祭
10 月 20 日 (日)
- ③神奈川県支部大会 11 月 2 日 (土)

年会費納入についてのお願い (平成 31 年 4 月)

当稲門会では会員の皆様から年額 3 千円の会費を納入していただき、「稲門やまと」の発行費用をはじめ当会の運営費に充当させていただいております。

当会の活動状況については、本広報誌「稲門やまと」において年 2 回、概略ご報告申し上げておりますほか、当会のホームページにおいても、当会の行事予定、各種事業の実施状況等タイムリーにお届けしており、会員の皆様との情報交換の場として活用させていただいております。

特に本年 11 月は創立 25 周年を迎え、会の活動の一層の充実が求められております。そのためにも会費の納入は不可欠であり、過年度未納の会員の方々にもこれを機会に納入の再開を切にお願いする次第です。

下記の「年会費の納入状況」におきまして、本年 3 月までに年会費をいただいた方を掲載させていただきました。まだ納入されておられない方は同封の郵便振込票にて納入戴きたく宜しくお願い申し上げます。なお、振込料金が 4 月から値上げになりますので、極力 ATM での手続きをお願い致します。

(ATM80 円→150 円、窓口 130 円→200 円)

会費納入に関して疑問の点等がありましたら会計担当の児浦宛電話、E メールにてご連絡ください。

会計担当 児浦義文 自宅電話 046-274-0628

E メール koura0114@jcom.home.ne.jp

会費納入状況 (31 年 3 月 10 日現在)

31 年度以降分の会費をいただいている方

遠藤三紀夫	大澤 善勝	小坂 悟	小林美佐子	佐藤 洋子	柴田 哲也
鈴木 信義	古木 敏幸	眞鍋 藤正	橘川 泰一	小林 晃	中西 剛

30 年度 (今年度) までの会費をいただいている方

中 晃	石井 稔夫	岩本 武夫	石川 公弘	碓井 敦子	遠藤 廣
太田 勝人	大澤 孝征	小澤 重晴	加藤 英雄	加藤 敬一	加藤 晴夫
北沢 寛	國方 隆	小島 達之	佐藤 逸郎	清水美加子	関根 実
高田 博	瀧本 幸男	土橋 仁志	中丸 敬治	菟場 直一	保坂 保
町田 浩文	三重野省二郎	水野 昂子	宮崎 顕	村岡 猛	遊佐 喜弘
横澤 和信	渡辺 申明	児浦 義文			



3 月は常泉寺の
“みつまた” が
きれいに咲きます
(大和市)

**会員の渡辺申明氏 (本誌「人生万事塞翁が馬」の記事の著者) が大和市議会議員に立候補の予定です
大和稲門会は彼を推薦します**



常泉寺の
石仏さん
(大和市)